

9 ヒメカノコ

(アマオブネ科)

兵庫県ランク:A

Clithon sp.

環境省ランク:NT

種の概要

房総半島から琉球列島に分布し、内湾の河口域の泥や砂泥干潟に生息する。殻長、殻幅とも10mm前後の球形で、殻表面は普通光沢がある。白色系の地色に、網目や三角形、ウロコ形模様などがあり、これに3本程の帯状斑を加えることが多い。また、細い縦筋模様なども少なくない。蓋はわずかに淡色部のある黒または黒灰色で暗色斑があり、外縁は赤褐色で、その内側が乳白色で縁取られる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。洲本市の満潮時に海水が流入する小さな汽水池で、カノコガイ(貝類要注目種)やコゲツノブエ(貝類Aランク)とともに比較的多数確認されたが、池の埋め立てにより絶滅した。淡路島産はやや縦長で殻長13mm前後となる。

保護上の留意点

外洋に面した内湾環境の汽水湖や浅い止水水域、干潮時は浅い流れの淡水の影響のある砂泥底や礫混在の干潟の保全。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋